

1 【活動の趣旨】

「やってみよう！2022」を合言葉に、めざす学校像の一つとして『地域とともに共同（協働）する学校』を掲げ、「家庭や地域等のさまざまな力や資源が活かされる学校」「教育や子育てにかかわる課題にとともに取り組む学校・家庭・地域」づくりを進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○栽培体験活動

1年生のさつまいも、2年生の大根、5年生の米などの作物を、農業合校やサポーターの方の協力を得ながら栽培した。栽培中は、適宜様子を観察し、成長を見守った。収穫した作物は、家に持ち帰り、収穫の喜びを感じることができた。



【5年生 稲刈り】

○学習支援

5年生の家庭科の学習で、裁縫の学習支援をしていただいた。担任の目が行き届きにくいところの支援をしていただいたおかげで、安全に配慮しながら、きめ細かい学習を行うことができ、子どもたちは、充実感を得ることができた。

○読書活動の推進

図書ボランティアの方には、本の貸し出しや整理、掲示物の作成など、子どもたちが本に親しめる環境づくりに貢献いただいている。

毎週火曜日には、低学年を中心に、朝の学習の時間を使って読み聞かせをしていただいた。子どもたちは、読み聞かせを大変楽しみにしていて、読み聞かせをきっかけとして読書の幅を広げることができた。

○郷土学習

3年生の校区探検の際に、宮司さんや地域の歴史に詳しい方に、それぞれ現地でお話を聞かせていただいた。

下笠サンヤレ踊り保存会のみなさんに、草津市に伝統的に伝わるサンヤレ踊りについて、実演を交えながら教えていただいた。また、草津市教育委員会歴史文化財課の方から、草津市の歴史や文化に関するお話を聞かせていただいた。（4年生）

3 【実施に当たっての工夫】

- ・自分で地域の写真を撮影したり、出前授業の事前学習をしっかりと行い質問できるようにしたりして、学ぶ実感を得られるようにした。
- ・出前授業や発表会を通して、地域に残していきたい文化や風習について深く考える機会とするようにした。

4 【事業の成果】

地域コーディネーターを中心として、地域や保護者との連携を密にすることで、子どもたちの体験的で主体的な学習を安全に実施することができた。

郷土について地域の講師さんから学ぶ取り組みを、3・4年生で新たに行うことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

郷土について多様な方法で学んだり、異学年・保護者・地域へ向けて発信したりする活動を、充実、発展させていきたい。